

元玉島保育所の民営化に伴う第7回三者協議会会議録

1 日 時

平成28年4月16日（土） 午前9時から

2 場 所

玉島保育園

3 出席者

- ・玉島保育園保護者 18人
- ・社会福祉法人 親和会
理事長・園長
- ・保育幼稚園課
中井課長・瀧川参事・北川保育指導主事・吉岡副主幹

4 案件

- (1) 乳児室の工事について
- (2) 引継保育の実施状況について
- (3) その他

5 発言要旨

(市) 皆さん、改めましておはようございます。

定刻を少し過ぎましたが、玉島保育園の第7回三者協議会を開会させていただきます。

これより議事進行につきましては、三者協議会の議長であります中井保育幼稚園課長にお願いします。

(市) 改めまして、皆さんおはようございます。

それでは、早速ではございますけれども、お手元にお配りしております会議次第に沿いまして、進行させていただきます。

まず案件の1つ目でございます、「乳児室の工事について」ということでございます。

乳児室の工事につきましては、前回の三者協議会におきまして法

人様からご提案がありまして、一定の協議をさせていただき、そのときには、具体的な形をお示しすることがまだできていませんでしたので、工事前に保護者の皆さまに図面をお示しさせてもらった上で、工事に入らせていただきたいということで法人様、保護者の方、私どもの三者で確認させていただいたと認識をしております。

ただ、保護者の皆さまから、「4月4日に既に改修工事が行われている。」という旨のご報告をいただきましたので、工事の経過がお示しさせてもらった内容と少し異なる部分もございましたので、その辺りの経過を含めて、法人それから私ども行政から一定のご説明をさせていただきたいと思っております。

まずは法人様からお願いいたします。

(法人) 改めましておはようございます。お忙しい中、ありがとうございます。

今の件なのですけれども、すみません、3月に私が一身上の都合で三者協議会を欠席させていただきまして、副園長に出席していただいております。

そこでの報告は受けていました。「図面を示すのです。」という話は聞いていたのですが、それを提示して、その後で工事をするというところまでが、少し両方の認識がずれていたというところがありましたというのが事実で、申し訳なく思っております。

図面を描くといっても、柵をずらした後の物の位置をどこにするかとか、通路のところの布団なんですがどうなのか、新しい担任が来て子どもたちの様子を見ながら動線は動いていくので、図面にするのは難しいという話はしたのですけれども、先ほども申しましたように、それを示した後というところが抜けていまして、私は、4月4日に初めて0歳児のお子さまをしっかりと1日お預かりして、食事を提供する前に、とりあえずトイレを通らずに保育室のほうから食事を運びたいという思いが凄くありましたということと、ロッカーを外すだけというものの、私たちの力で行えるのか、保育園に入ってもらっている大工さんに、これは素人でも簡単にできるのか、やはり大工さんの手を借りたほうが良いのかということを見てもらったところ、やはり素人がするのは、色々なところを保育のためにくっつけているので、先生たちがしたら、ほかを傷める危険性があるので、僕たちがすぐにやりますということと、それが保育時間中とか、子どもさん、保護者の方が出入りするときはできないのでという話などがあったのですが、「今す

ぐしてあげる。」という感じで、そんなに大きな音もなくという形で進んでしまった経過がございます。

最初に申しましたように、図面を示させていただいて、了承の上で工事をするというところが、少し行き違ったというところが、認識不足ということで露呈してしまったというところなのですけれども、何度も言うようですけれども、4月4日にきちとした形で利用していただく保護者の方、そして子どもたちに安心して給食提供ができるようにしていきたかったというのが真意でございます。決して約束があったことを踏みにじるという思いはございませんので、ご理解をいただきたいと思えます。

(市) ありがとうございます。

それでは、担当から経過についてご説明させていただきます。

(市) 今回の改修工事の件につきましては、今、中井課長からご紹介がありましたが、4月5日に保護者の方からご連絡をいただき、すぐに園に確認させていただいたところ、先ほど法人様からご説明がありましたように、合同保育の時点からお子さまの受け入れであるとか、給食の搬入に不便ではないかと感じておられたというところで、一日も早く改修をしたいという思いをもたれていたということ、また、図面を示すということについては、先ほど法人様からもご説明があったのですが、実際にこうしょうと事前に決めても、実際にお子さまの保育であるとか、保護者の皆さまの利便性の向上、ご不便をかけないようなレイアウトにするのに、実際と事前にお示しした図面とが違うということがあれば、かえって混乱を招くのではないかという思いがあったということで、今回の工事になったということでご説明をいただきました。

改修後の乳児室につきましては、連絡を受けたのが5日の夕方でしたので、次の日の6日の朝に私と中井課長で確認させていただいたというところなのですけれども、今回の件につきましては、法人様の思いや考えが、少し先に行ってしまったのかなというところはあるのですが、市としましては、この三者協議会の場で図面であるとか、イメージであるとかというところを、法人様にご説明いただいた内容と保護者の皆さまがイメージされている内容が、そのとき少し違うかという思いがありましたので、三者協議会の後に現場をみていただいてというご提案も法人様からございましたし、市としましても、何らかのレイアウトを示した中で工事をしてもらうほうが、保護者の皆さまと一致した理解が得られ

るかというところでご提案をさせていただいたところですが、結果として、お約束を果たせないまま、履行できないまま工事があったということについては、私自身が、もう少し法人様と連絡を密にして、確認をさせていただきながら進めさせていただくべきであったというところで、そうしていれば、一番最初の4月4日から保護者の皆さまにご不安を抱かせるようなことはなかったのかと反省しておりますので、申し訳ありませんでした。

今後は、このようなことがないように法人様、保護者の皆さまと丁寧に連絡、連携をとりながら進めてまいりたいと思っていますので、今回の件につきましては、ご容赦いただきまして、今後ともご理解とご協力をお願いしたいと思います。

申し訳ありませんでした。

(市) ただ今、法人様、それから担当から説明をさせていただきました。この件につきまして何かご意見等ございましたら承りたいと思います。

(保護者) 完成図が先に欲しかったのが一番なのです。完成図と、いつ工事をするかというのを先に教えて欲しかったというのは、一番みんなそう思っていると思うし、先月の三者協議会で話が出て、誰も「きっとこうなるのだろうな」という予想が何もできていない話を先日していたと思うので、出席していた先生と噛み合っていなかったというよりも、いっぱいハテナが飛んでいる中だったので、話が噛み合っていなくても完成図を出したほうが、こちらにとって分かりやすいということは、多分予想できたと思うのです。

それが出てこなかったというのは凄く残念なのですけれども、入園式のときに私が0歳児で預けるのに、入園式後に部屋で色々な説明を受けたのですけれども、誰も工事が入るという話を先生方がしなくて、「ここにノートを出してくださいね。」と言っているその棚は元の棚で、「ここにかごを置いておきますから」と言われても「どこに置くの」というような状態で話をされていたので、そのときでも分からないまま帰って、4日に来たらそうになっていたもので、先生の中では、工事が入ってどういう形になるということは、分かっておられたのですよね。

ロッカーがあって、その上にノートを置いたり、服を置いたりするかごがあるのでありますが、朝の用意の説明をするときに、「ここにノートのかごがあるので、入れてください。」と言っておられて、かごがどこに置いてあるので、ここに置いてくださいと

いう説明もなく、「かごに入れてくださいね。」だけだったので、「そのかごは、どこにあるのですか。」と聞いたら、「ここに置いておきます。」と言ったこの先は、全面のロッカーのままだったので、そこで一言、「4日に来るときには工事があって、こうなっているから、ここに置いておきます。」と言ってくれたら、「工事が入るんだ。」とみんなが思うと思うのですけれども。

新しい保護者の皆さんが多い中で、それはやはり説明不足だと思うし、レイアウトを出す、出さないよりも、その日に工事が入るという説明は、できたのではないのかなと凄く思うのですけれども。

(法 人) 担任にはロッカーがここに入るという話は、伝えておりました。そのときは、「今日の夕方に大工さんが来て、この棚がとれるかどうかを見てもらいます。」ということは伝えていました。

できたらこの土日間にしたいということは担任には伝えていたのですけれども、やはり今見える物の中で説明したのだと思います。

それは確かにお母さんのおっしゃるとおりで、職員の中でもイメージできていなかったのだなと今、思っておりますが、本当に大工さんに見てもらって、「今、子どもさんがいないのだったら取ってしまおうか。」という話になって、急にということはありません。

(保護者) 4月1日の夕方に大工さんが見に来られて、工事を頼まれて、そのままということですか。

(法 人) 夕方に見に来てくださって、素人では難しいから、「今日は無理だから明日だったらいいか。」ということで、1日に見に来てくださって2日で。

(保護者) 2日は土曜日ですよ。0歳児は、まだほとんどいなかったと思うのですけれども、1歳児の保育はされていなかったのですか。

(法 人) していました。午後から来てもらって、大きな音はなく

(保護者) 音だけではないですよ。あそこを通りますよね。

(法 人) それは、安全を確保しながら。

(保護者) そんなに行かないとはいえ、通りますよね。預けている身からすると、不安というか、危険でしかありませんよね。

(法 人) その辺は、保育士もついてやっておりますので。

(保護者) それは、1歳のりすの保護者が朝連れてきますよね、そのときに「今日、お昼から大工さんが来て工事しますが、大丈夫ですよ。」という説明は、朝、保護者の方にされたのですか。

- (法 人) そこまでは
(保護者) その時点で入ることは分かっていたのですよね、2日の朝には。
 違うのですか、1日に大工さんに見てもらって、明日、土曜日にやりましょうということは、2日の土曜日の朝には、昼から工事が入るということは分かっていた訳ですよね。
 2日の朝、りすの保護者の方が朝来たときに、「今日、昼から入りますけれど、大丈夫ですから。」という説明は、されなかったということですか。されないまま昼から工事をして、子どもは、お昼寝もあそこでしていたということですか、1歳のりすさんは、工事をしている間、隣の部屋で生活していたということですか、隣の部屋とはいえ、過ごしていたということですか。
 下の部屋に避難というか、移動させてしたという訳ではなくてということですか。
- (法 人) はい。
(保護者) それは、配慮が欠けるとは思われなかったのですか。いくら静かで音がしないといっても、万が一ということはあるじゃないですか。下の部屋に一時的に移動してもらってということは、考えは至らなかったということですか。
- (法 人) はい。
(保護者) 残念ですね。
(保護者) そういう工事が今後あるとしても、日曜日にしてもらうことはできないのですか。
 急に決まったとしても、子どもがいる中ではして欲しくないというのが一番の思いです。どんなに音が出ない、気をつけていると言っても何があるか分からないので。
- (保護者) 関係ない人も出入りする訳ですし。
(保護者) 日曜日にしてもらうということは、できないのですか。
(法 人) できます。
(保護者) ですよね。
(保護者) 早く形を作って、トイレを通らないようにというのは分かりはするのですけれども、こちらに教えてくれることとか、色々ところが、しょっぱなから残念なところが多くて、今後大丈夫なのかな。
 工事とか何かがあるというときに、少し不安を感じるということがスタートからあったので。
- (法 人) スタートがこれだったので、気をつけて、今ご意見をいただい

たところは十分に活かしていきたいと思います。

(市) ほかに何かございませんでしょうか。

前回の三者協議会の中で、三者の中で確認した、その確認したことが、しっかり守られていない、そこが私は一番問題だと思って担当にも指導をさせていただきました。

ここで確認したことが履行されているかどうかを確認するのは担当の役割だ。よもやそんなことはないだろう、ここで確認しているから、担当としては連絡がくるだろうと思っていた、法人様のほうでも、図面を示してからという認識はなかった、ここでもうずれてしまっている。ずれを確認するためには、「あれはどうなっていますか。」ということを追っていかなければならないのではという話をさせていただきました。

その途中で、「そこまでしないとダメなのですね。」ということで、気づいたかもしれない、そういう少しの認識の違いも、どちらかが追っていかないとダメだし、私どもも職員を置いていますので、しっかりと確認できていなかったということは、担当課長としてお詫びさせていただきたいと思っています。

やはり、園を運営する側としては、色々な面に配慮しながら、新しい体制になる時期までに間に合わせたいという思いが強かったということも理解できます。ただ、その先にはやはり保護者の方がいらっしゃって、今、ご指摘いただいたように、工事があるということをしつかり知らしめて、その中で安全を確保してやっていきますというのも運営事業者の役割かと思いますので、しっかりと図面でないと、変わってしまったらという部分はあったのですけれども、それは変ることが前提ですけれども、こんな形でやりますということを示されてはどうですかという意味合いでご提案させてもらった部分があったので、その部分もしっかり共通認識を図れていなかったことは、ひとつ反省しなければと思っていますので、今後、工事の部分については、日曜日を最優先にさせていただきますし、ただ、ライフラインにかかわる緊急工事については、やむを得ない場合もございますので、その辺りは一定、ご理解をお願いしたいと思います。

ある程度予定させていただく工事については、先ほど、もう一度お約束させていただいたように事前にお示しをさせていただいて、「工事がこの日に入ります。」ということをお知らせさせてもらった中で、進めさせていただくということをご確認させて

いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(保護者) 事前に分かることは、ちゃんと知らせてもらう、もし急遽、何かということがあった場合は、役員に最低でも連絡をいただいて、そうすれば保護者にこちらから連絡できますので、そのように使っていて、保護者と園も繋がっていかないといけないと思いますので。お願いします。

(法人) はい。ありがとうございます。

(市) この件につきまして、ほかに何かございませんでしょうか。

(保護者) 特になし

(市) よろしいでしょうか。

今後は、より丁寧に三者で連携をさせていただきながら民営化を進めさせていただきたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

それでは、案件の2つ目に移らせていただきます。「引継保育の実施状況について」ということでございます。

4月1日から玉島保育園という形で民営化がスタートしております。同時に市の引継保育士、吉岡副主幹をはじめ、複数の職員がこちらに出向かせていただいて、引き継ぎを行っている状況でございます。

まず、吉岡副主幹から現状についてご報告をさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(市) 昨日までで公から民に替わって、私たちが引継保育士として過ごさせていただいているところで、2週間を終えたところです。

私を含む5名が、それぞれ各クラスに入り込みまして、保育の状況を見ながら、お手伝いしながら、気づいた点とか、今までとやり方が違っていたりという部分に関しましては、その都度、担任の先生にお話をさせてもらったり、また、園長先生に報告させてもらって、職員会議等で職員間で共有していただくように、お願いさせていただいているところです。

あと、登降園時にお会いできるお母さんたちとは、少しお話もさせてもらったりはしているのですが、朝、夕の会えない保護者の方とは、なかなか密に連絡が取れていないという状態ではあるのですけれども、そのところは、園長先生がされているかと思って、今のところ2週間過ごさせてもらっているという感じです。

(市) ありがとうございます。

それでは、法人様からお願いいたします。

(法 人) 今聞いていて、2週間経ったんだなというのが実感するところで、職員も1月から合同保育に参加させていただきながら、色々見て、学ばせてもらってきたところなのですけれども、実際に自分たちが主になってやっていくということは、担任も松ヶ本から来た職員、末広から来た職員、そして新規に採用した職員が1クラス、1クラスを持つという中で、お互いが自分自身の保育経験であったり、色々なものを持った者が持ち寄りながら、1つのクラスを作っていくというところと、自分たちが主にならなければという緊張で、いっぱいいっぱいになっていて、今は市の先生たちに助けていただいているというところが、実際のところかなと思っております。

みんな、いっぱいいっぱい気が張って、余裕がないなということが私自身も顔を見ていて分かりますし、私自身が一番、それに陥っているかなというところもありまして、ひとりひとりの職員の様子を見たり、子どもさんの変化を見ながらやってはいるのですけれども、本当にいっぱいいっぱいかなというようなところで、そんなときこそ笑顔と歌で頑張ろうねと職員を励ましているところです。

分からないこととか、助けて欲しいことは、市の先生たちに素直に頼って行って、お力添えを得ながら、ここは踏ん張っていきましょうというようなことを共有しているところです。

保護者の方には、まだ少し不安を与えている部分が多々あるかとは思いますが、みんな一所懸命やっておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

(市) ありがとうございます。

ただ今の報告につきまして、ご意見等ございませんでしょうか。

(保護者) 特になし

(市) よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、次の案件に移らせていただきます。案件の3つ目、「その他」ということで、何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

(保護者) 昨年度からずっと保護者会で再三お伝えさせていただいていると思うのですけれども、小学校との運動会の同日開催について、是非やめて欲しいということを何度も色々な場所で言ってきていると思うのですが、蓋を開けてみれば同日開催が、大池、中津、玉櫛、葦原と近隣小学校のほとんど全てが同日開催となってしま

ことだとか、自分の信条が全然出せないまま、余裕のないまま今を迎えているというのが現状で、そのことも話をしながら、「保護者に寄り添う保育とはどういうことなんだろうね。」ということで、この話をいただいたから、それを機会にできたということを職員会議でテーマにしてお話をしてきました。

そうしたら、「日にちを変えて済むことなのかな。」という話とか、日にちを変えたら納得していただける保護者の方も増えるだろうけれど、それを变えることで全ての行事がずれてしまうという現実もある中で、やはり子どもたちにとってどうなのか、保育士も自分たちがこれからやっていくのに、時期がずれた中で色々な行事をするということもどうなのかと、みんながそれぞれに自分の思いを出しながら話し合いをしました。

ひとりひとりの中で、やはり5歳児は楽しい1年、たった1年しかお付き合いできない中で、色々なことを「楽しい」と思ってもらって卒園して欲しいという思いは、みんな共通して持っています。

意見をいっぱい出し合いながら、やはり今回、日を変えるということは、余計に色々なことに混乱を招くであろうという結論に達しました。

日にちを変えることはできないのですけれども、最終予行日をオープンにして、見ていただくということにしてはどうだろうかという方向を出してきました。

結論は、運動会は10月1日にさせていただき、9月の最終週の火曜日か水曜日か木曜日に最終予行を設定しようと思っておりますが、日にちは、もう少し時期をおいて決定させていただきたいのですけれども、最終予行を本番のようにさせていただくので、それを見学していただく、当日、ご不自由をかける方にはおいでいただいてという形にさせていただきたいというふうに私を含め、職員みんながなりました。

本当に、私が最初にお母さんからお話をいただいたときに、一番しんどい顔が出てしまって、不愉快な思いをさせたのだらうなというのと、杓子定規に「玉島地区で協議したのです。」ということを出したあたりでも、配慮が足りない、寄り添うことにはなっていなかったかなと反省しております。

色々考えさせていただいたということで、ご理解いただきたいと思います。

- (保護者) すみません。玉島小学校に連絡はしていないのですか。
10月1日が中津、大池、葦原、玉櫛ではないですか、玉島小学校だけ9月の最終週、もう一度玉島小学校にその後、連絡してもらって変えてもらうことは、ダメなのですか。
玉島小学校も10月1日にしてもらって、玉島保育園は9月の最終週だったら重ならない。
- (市) もっともなご意見だと思うのですがけれども、玉島保育園の人数規模でさえ行事の予定を変えることは、非常に難しい、タイトな状況になっています。
小学校といいますと、何百人という子どもたちがいる中で、地域に開放している日なども、もうオープンになってしまっていますので、そのところの日程調整が非常に難しいのではないかと思います。
去年、玉島小学校と、玉島保育所と玉島幼稚園で色々協議して、玉島小学校と重なってしまって、それでご意見もいただきましたし、私が実際に小学校にも連絡をさせてもらいましたし、教育委員会とも話をさせてもらいました。
その中でも、やはり行事の予定が色々決まっている中では、動かすのは、非常に難しいという回答でした。
そのときは、玉島地域の中で一定の協議が事前にあって、9月はどこ、10月の第1週はどこ、第3週はどこということが決まっていたのですがけれども、シルバーウィークの関係か何かで、小学校が少し早められたのですかね。
- (保護者) 遅らせたのです。
- (市) 遅らせたということで、重なってしまったということで。
- (保護者) 去年は重なってしまったのは、仕方なかった、凄く大変だったのですがけれども、引き継ぎとして、去年は、ここと、ここと、この小学校と重なっているから、どうして玉島小学校だけ調整したのかな。
- (市) 前から全地域で調整していた、していない。
- (市) 玉島小学校と、玉島幼稚園とここが、小学校が9月末、ここが第1土曜、幼稚園が第2土曜ということで、この地域は、ずっと決まっていた。
ほかの小学校については、土、日と隔年のところもあれば、隔年をやめて土曜日になってきているところもあって、小学校が徐々に運動会の開催日が変わってきている状況にはあります。

(保護者) そこは自由なのですね。土日のどちらを選ぶかは、小学校にお任せなのですね。

市では教育委員会などで、保育園は絶対土曜日ではないですか、そこを考慮してなるべく日曜日というのは、語りかけてはもらっていないということですね。

(市) 学校園長を集めた大きな会議があり、私も出席させてもらっていますけれども、先般、会議がございまして、去年の話がありましたので、教育委員会から各学校長宛に地域の就学前の施設と調整してくださいということは、指導していただきました。

ただ、「この日にしなさい。」とかということは、言えていないのは事実です。

(保護者) やはり保育園は代休を取れないので、一番日程の選択肢が少ない訳ですよ。幼稚園や小学校は、例えば土曜日にしても代休を取るし、日曜日にしても代休を取るのですよ。

ですので、そもそも日曜日にしていて欲しいという意見が保育園から出ている、多分、玉島だけではないと思うのです。よその保育園でも、ここまで問題にはなっていないけれども、誰かが絶対折れているところがあると思うので、そういう話が保育園から出ているということを持っていってもらえたら。

小学校なり幼稚園なりを日曜日に、全部を一気には無理かも知れないけれども、徐々にでもしていってもらえたら、いずれはこの問題はなくなってくるのではないかと思います。

(市) それは要望させていただきます。来週のどこかのタイミングで教育委員会に行きまして、当該の課長にこの要望は、させていただきたいと思います。

ただ、これが直ちに今年度に反映されるかどうかということは、少し難しいということは、ここで申し上げさせていただきます。

ただ、来年度については、そういうことを校長会とかを毎月されていますので、そのタイミングで発信していただいて、日程を組むときに極力、小学校の運動会については、日曜日開催を基本として、そうは言いますが、色々行事があつて、それぞれ調整はされると思うのですけれども、そういうことを保育幼稚園課から要望できますので、それは、させていただきます。

(保護者) それを伝えておいてもらえたらと思います。

(市) 分かりました。

(保護者) 調整が難しいということは分かるのですけれども、保護者側か

らすれば、去年から言い続けていることなのですよ。

そうしたら、なぜほかの小学校の確認もせず、保護者に説明もなく、この日になりましたという日にちを開示してしまうのか。

相談してもらいたかったし、ほかの小学校にも確認した上で、教えていただきたかったということが、凄く強い思いです。

ほかの小学校にリサーチする時間は、去年からあったと思うのです。そこを怠っていた点と、保護者側が伝えていたにもかかわらず、何も報告がないまま、重なっている日にちを報告されるというのは、正直、信用できないというか、なぜ、そういうふうに保護者がいつも後回しなのかという面があります。

(市) 先ほどの件があって、この件もあってということで、少し重なってしまうので、関連付けてしまっというところはあるとは思いますが、申し訳ありません、ただ、日程調整の件を引き継ぎさせてもらっているときには、去年の玉島小学校のことがあって、玉島地域で必ず重ならないようにということは引き継ぎをさせていただいています。

ただ、隣接小学校区のことまでしっかり伝えられていたかということ、私どももお伝えしていませんし、所長からも言えていないと思うので。

(保護者) でも、保護者側からは伝えていきます。

(保護者) 入園の申請を出すときに、きょうだいの欄に小学校の名前を書いていると思うのですが、それは、そちらの確認ミスですよ。

色々な小学校の子どもを持っている方がいらっしゃるんで、玉島小学校だけだったら、玉島保育園に入園する前に、玉島小学校に行く子どもだけを入園させるべきではないのですか。

こちらは書類のきょうだいの欄に、小学校の名前を書いているのです。それが毎年々、同じ小学校に重ならないようにしてくださいと言っているのではないのです。毎年々、我慢して、我慢して、我慢して、「今年は見られるだろう」と思っている母親もいるのですよ。玉島以外の小学校の方は。

通勤等も大変なので、「今年玉島小学校と重ならないようにしました。」、次の年は、次の小学校と重ならないようにしようとか、そういうことを考えていますか。平等に。

(市) そうしたら、玉島は重なってもいいけれども、こちらは重ならないようにということですか。

- (保護者) もう、玉島小学校だけを基本に考えているのですか。
- (市) 今までは、玉島小学校だけを基本に考えていたというのが実態です。ただ、
- (保護者) ほかの保育園だったら、大阪市内ですけれども6月にしたり、7月に持ってきたり、8月に持ってきたり、9月に持ってきたりするという意見は、民営化だとあると思うのです。
- それは、可能ですか、この先。
- (市) この先は、可能だと思います。
- (保護者) そういう説明も、ちゃんと分かっている以上、リサーチできているのであれば、それを保護者に伝えてください。
- そうしたら、保護者は別にどうこう言っている訳ではない、今年見られなくて、諦めても構わないのですけれども、今後、繋がっていくじゃないですか、下の子に。
- それはなくなるように保護者は納得したいだけなので、通達が全然伝わってこないのも、それが凄く腹が立つのですよ。
- こちらも、今年は見られる、毎回々、「重ならないようにお願いします。」とこちらから言っているにもかかわらず、決定してから通達するのではなく、決定する前にこちらにも説明してくださいということですよ。そうしたら、保護者も理解します。
- 全く同じことを繰り返すのですか。運動会以外のことで、また、問題がありました、それでまた、同じように決定した後に言い訳するのですか、その繰り返しですか。
- それに繋がってくるので、決定したことを確実に前もってお知らせください。そしたら保護者も、仕方ない、ちゃんと市の保育所もみんな調べて言ってくれているので、理解すると思うのです。
- (市) 今、おっしゃっていただいた、次に1つずつ重ならないようにするというのも1つの案でしょうし、そこには、玉島小学校に通われる方の、玉島保育園でのウエイトも考えて、そうすると保護者の声として、「基本はここに置くべきだろう。」という意見も出てくるかも知れない、今後、市内全域の小学校と重ならないようにするということができればいいですけれども、なかなか難しい状況もあるので、隣接するということをどこまでに置きましょうかという議論は、これからしていかないといけないと思っています。
- それを判断されるのは、玉島保育園のほうで、今おっしゃっていただいたように、書いていただいているエリアから来ていただ

いているウエイトが毎年変わりますので、それも含めて考えていただけることにもなるでしょうし、もし、時期を変えなければ、そういうことを考えないといけない、ご提案いただいたように時期を変えるのであれば、そういうことは全く必要なくなりますので、その辺りをどう捉えていくかということは、大きな今後の課題かと思っています。

(保護者) そういう説明を前もって保護者にしてくれていれば、ここまで出なかったということです。

(市) そういうふうに今後はしていきますという、次の方策を言えていなかったということですか。

(保護者) 4月に入ってからの話ではないので、去年からの話ですので、それは通達していなかったのかも知れませんが、保護者はそのように。

(市) それを既にご意見として言っていたいただいているのですね。言っていたときに、「分かりました。次はこういうことも考えて、来年度には活かしていけるようにします。」と言っていたのであれば、ここで、こういう話にはならなかったというご指摘ですね。

(保護者) ならなかったです。はい。

(市) はい。分かりました。

(保護者) すみません。今回の保育園の運動会の日程は、いつ決まったのですか。

(法人) 4月に入ってから小学校からお電話をいただきまして、その前に協議はされていたようで、小学校は約束どおり9月にするので、先生のところは第1土曜日ですねという確認を学校長からいただきました。

(保護者) そういうことを4月に入ってからなされたのであれば、4月1日の進級式の時点で、「お願いします。」と言った時点で先生たちは、「はい。分かりました。」と言うべきではなかったと思うのです。やはり、そこは、こちらは、「お願いします。」「分かりました。」と言われれば、ちゃんと周りのことも見て、小学校と調整していただいているものだと思いますよね。

その部分で凄く大きなずれが、園側と保護者側にあると思うのですね。

できないものはできない、分からないものは分からないと言っていたいただいて構わないのですよ。できると言ったことをしないから、保護者は腹が立つ、1週間後には違う結果が出るという点で、

保護者の中に、「本当に信頼できる、できないよね。」となりますよね。

やはり、1週間で言っていることが覆るということは、絶対あってはならないし、本当に園長先生にもお話をさせていただきましたけれども、ここで、「保護者との信頼を大切にしていきたい、絆を」と、正直そういうものも信頼できないという思いが、今の思いです

(保護者) 去年、たくさん重なって、保護者から声がたくさん出たと思うのですけれども、それは当然、吉岡先生はご存知だったと思うのですけれども、引き継ぎをされるときに、そういうことがあって、保護者からたくさん声が上がったから、今年は注意してくださいということは、おっしゃらなかったのですか。

(市) それは、やはり地域、どこの保育所もそうだと思うのですけれども、地域の連携があって、ほかの保育所でも、こういう問題はどこも抱えているので、同日開催になってしまうところも、致し方なく出てくるところは出てきているのです。

何を中心にするかというのと、やはり地域で重ならない、特にここは幼稚園と隣接しているから、特に難しいのです。ほかのところは幼稚園と隣接していないから、もう少し土曜日開催でも動かすことができるのですけれども、今回、園で、昨日の職員会議で考えてもらった部分でも、第3土曜日にしようかという論議をかなりされたようなのです。でも、第3土曜日になってしまうと、第3水曜日が誕生会なので、保護者の方のお休みが、またその週のうちに2回になる、そうなる第3土曜日に運動会をもってきたとしたら、雨が降ったとしたらまた、次の週になる、そうしたら今度気候が、子どもにとってどうなっていくかとか、時期的なことも考慮したときに、やはり一番好ましいのが、どこの小学校もそうです、保育園も保育所もやはり9月末か、10月の第1、第2の土日の選択になってくるかと思うのです。

私が引き継ぎでお伝えさせてもらったのは、去年、小学校と重なって、本当に凄く大変なことになった、その小学校は、もちろん玉島だけではなかったですよ、だけれども、ここは地域が玉島だったので、玉島とは絶対重ならないようにお願いします、と言ったのは言いました。

なので、そこのところで少しことばが足りなかったのかも知れないのですけれども、そこのところを平出園長が受けて、玉島と

は連携を取ってもらってという形になったかとは思いますが。

(保護者) 小学校や中学校の運動会事情は、よく分かっていないのですが、けれども、違う日なのですよ、小学校によってバラバラなのが不思議だと思ったのです。

例えば、小学校はこの日、中学校はこの日ということで固定してしまえば、今までほど重なることは、保育所はここと自然にいけないではないですか。そういうように持っていくことはできないかなということが、少し疑問です。

(保護者) 1つの家庭で、あっちの中学校とこっちの中学校に通っていることは、絶対ないから。

小学校も、1つの世帯が、あっちの小学校とこっちの小学校に通っているきょうだいなんて絶対ない訳だから、小学校は全部同じ日にちでも、保護者は絶対にその小学校にだけ行けばいい訳だから、

(保護者) 小学校、幼稚園、保育園ということで、全部分けることも。

(市) 今、おっしゃるように、茨木市として小学校はこの日、中学校はこの日と。分かります、分かりますけれども。

(保護者) そうすれば、こういうこともなくなるのではないか。

(保護者) せめて小学校が日曜開催、日にちは何週目でもいいのですけれども、日曜にしますということを決めてもらえると、年度初めから日曜にしますということを決めてもらえると、土曜日しか無理なのは、保育園側だけなので。

(市) そこは、先ほどお約束させてもらったように、まだ可能性があるかなと少し私も思っていたのですよ。

とりあえず日曜日に、どの日曜日でもいい、それで、今、ご提案いただいた、この日に決めるということになれば、例えば10月1日、市内全て10月1日となれば、保護者の方にとっては最高にいいのですけれども、やはり地域で色んな取り組みをしておられて、それぞれの地域での色々な団体との日程調整もしておられる、それを個別にしろというと、学校は非常に困るだろうと、言う前から思っているのですけれども、一度話はしてみますけれども、少しそういう課題はあると思います。

例えば10月1日はここ、10月7日は中学校ときっちり決められれば、どこに行っても同じ条件で、どこの保護者も同じ条件になって、一番いいのですけれども、ただ、小学校は地域コミュニティーの核として動いている部分もあって、そこを中心に色々な

ものが集まってきていて、何かと行事の中心となっている部分が大きいので、そういうことが可能かどうかという部分もあります。

そういうご意見もあったということは、この協議会をせっかく開いていますので、こういうご要望と、ご意見があったということは、伝えさせていただきます。

(保護者) 小学生の子どもを持つお母さんが、保育所、保育園だけではなく、小学生の保護者として、「こういう意見があったので」ということを小学校に対しても通達したほうが、やりやすくなると思うのです。

こちらから意見を言っても聞いてくれない小学校が、どこか出てくると思うので、小学生の保護者として、「こういうことになっているのです。」と意見をまとめれば、話し合いができると思うので、私も子どもが小学校に行ったときに、保護者からの意見として、「こういう問題が出ています。」と言っていけば、いずれ、今のが来年に繋がるかどうかは分かりませんが、今後、こういうことがないようにやっていけたらと思っていますので。

(市) 実際に、「保育所の保護者の三者協議会の中で」と言ったときに、小学校の保護者から「その意見が出ていた。」と言うと全然違いますので。

(保護者) 今回は、通達は必ずお願いします。それだけだと思うのです。

保護者の気持ちが、そこにいってしまっているから、「見たい」という気持ちが。

今年は見たい、おじいちゃん、おばあちゃんが来られなかった、お父さんが来られなかった来年は行ける、重ならないからと期待していたことが、やっぱり無理だったというのは、残念ではないですか。ガックリする前に、分かっていたのなら少しでも言ってくれたほうが、気持ち的にも楽なので。

(市) それで、今、ご指摘いただいた、一度「はい」という答えがあるが故に、また期待度が高まりますので。

(保護者) そうなのですよ。

(市) 一度、職員さんが「はい」と受けて、当然報告されて、分からないので、1日でも2日後にでも「分かりません」ということで返していれば、また変わったかも知れないのですけれども、そのまま1週間後に貼り出されたら、「どうなっているの」という感じになった。

(市) その経緯が分からないということになりますよね。

- (保護者) そうなのです。「騙された。」と思いました、見た瞬間
- (市) 私も、今、吉岡が言ったように、法人様が決まった9月の時点で、その時点でも玉島小学校と重なったということは、法人の選考委員会の後でもご意見をいただいて、私も課長もしっかり受け止めて、法人様が決まった時点で、理事長先生にも、「玉島小学校、玉島幼稚園とは重ならないように配慮をお願いしたい。これだけは、吉岡から引き継ぐと思うのですけれども、市としてお願いしたい。」ということで、教育委員会には課長を通じて働きかけていただくということで、そのときも協議はさせていただいたのですけれども、「どうしても難しい」ということで、ですから、地域をどこまで広げるかというのは、公立の保育所も含めてですけれども、今後、考えていかないといけないというところと、今、おっしゃっていただいた意見については、教育委員会とも調整して、必ずできるかどうかは分からないのですけれども、課として伝えていきたいと思っています。
- (保護者) こちらも全部は無理だということは分かっているのですけれども、ことば足らずだと思うのです。配慮というか。
先ほどおっしゃったけれども、「保育園に来ている子どもたちのきょうだい通っている学校に全部連絡したけれども、どうしても無理で、この日になりました。」ということばさえあれば、こちら納得できたのだけれども、「玉島しか確認していません。」と言われると、「じゃあ今まで伝えてきたことは。」というようなことがあったのだと思います。
- (保護者) 先生たちが、頑張ったけれども無理だということをごちらが聞ければ、納得はすると思うので。
- (保護者) 0歳児の工事も一緒なのですけれども、結局、ことば足らずというか、そういうところが全部、保護者から挙がってきているところだと思うので。一言添えてもらえれば、それで済んだようなことだとは思っています。
- (市) 私も担当として反省すべきところなのですけれども、無理であれば、その過程を説明した上で、ご理解をいただく、その中で議論をして、次はどうするということに行かないと、前に進めないと思いますので、そこは私も担当として、留意していきたいと思っていますので、すみません。
- (保護者) 先ほど10月1日が本番で、日にちが変えられないから、やりますということで、その前に予行できっちりするので、その日に来

てくださいという話だったと思うのですけれども、ということは、運動会を2回するということですか、本番を。

見に来てくださいということは、そういうことですか。

10月1日はこれでやるのですという内容をそのまま、火曜日か水曜日にするのですか。

(法人) 最終予行は、衣装もしっかり着けて。ただ違うのは、万国旗等が当日はありますが、3日前に張って、張りっ放しということではできないので、そういうことは多少違ったりするかとは思いますが、天気がずっと続くようであれば、出し物としては本番と同じような流れで。

(保護者) 本番と同じような流れで、ずっと全部、競技もしていくということですか。

(法人) そうです。

(保護者) その開催は、何曜日にされるのですか。

(法人) 最終的にはもう一度職員と協議するのですけれども、9月の最終週の27日、28日、29日のうちの、どの日かにします。

(保護者) でも、結構な数の、大池とか中津とか玉櫛とか、色々な小学校に行っている保護者がいっぱい来たら、近隣もだし、子どもたちも混乱しませんか。

最終予行は、以前に退職された先生が来たり、運動会の日には絶対来られないからと少し来るくらいで、最終予行は、見たことないが、その程度だと思うのですけれども、そこに3割、4割来てしまうと、そのほうがびっくりしませんかね。

(保護者) 別に子どもは小学校に行っていないけれども、2回行っておこうかということでも、分からないですよ。

(法人) そのときは、やはり「当日来られない保護者の方、お願いします。」ということは、また。

(保護者) 何人参加されるかはとって

(法人) そうですね。

去年、松ヶ本認定こども園で実施したら、58名の方が最終予行に来られました。おじいちゃん、おばあちゃんとか、入園していない小さなお子さんをお持ちの方は、当日、人がいっぱいの中で来るよりは、少しでも少ないときに見ておきたいということで、来られた方もありますけれども。

(保護者) 当日は、それよりもたくさん。

(法人) もちろん。

一人のお子さんに5、6名の方がおいでになりますので。

去年、こちらの運動会を見せていただいたときは、小学校へ抜けて行かれているという方もいらっしゃったかと思うのですけれども、余裕があるかなと、松ヶ本は園庭も小さいですので、いっぱいになるのですけれども、余裕があるかなとは感じたのですけれども。

抜けたり、入ったりされていたからだったかも知れないのですけれども。

(保護者) 共働きが、世の中多くなってきていて、子どもを2人、3人と持っていて、小学校と保育園の連携は、きっと大事だと思うので、小学校が日曜日開催にするとかいう流れは凄くいいと思うので、提案してもらったらいいかと思うのですけれども、私個人的には、クラス懇談で言ったことが、正確に園長先生に伝わっていないとか、ここで出たことが、副園長先生に正確に伝わっていないとか、そこが凄く疑問で、せっかくクラス懇談して、めったに集まらない保護者が集まって意見を言っていることが、正確に園長なり副園長に伝わっていない、ことば足らずでしたて済んでしまうようなことではないことが、伝わっていないことが問題だと思うのです。

伝わっていたらきっと、もっと違う方向に物事は進んでいただろうし、「なぜ、言ったのに伝わっていないの」と、こちらが怒りを覚えることもなかったと思うのですけれども、そこは凄く重要なところだと思うのです、現場の先生に言ったのに、上に伝わっていない、そこはどうなっているのというところは、凄く直して欲しいというか、やはり組織としておかしいと思うので、私たちは、やはり担任の先生が一番近い存在ですし、意見しやすい面もあるので、担任の先生に最初は相談したり、意見を言っていると思うのですけれども、そこから上に全然繋がっていないとか、報告する機会がないとか、しても話で終わっていて、正確に報告になっていないとかいうことがあるのならば、それは見直して欲しいと思います。

(市) そのほかに、何かございませんでしょうか。

(保護者) 最終予行をもし見に行ったら、本番は見に行かなくても大丈夫ですか。

(法人) 見に来なくても大丈夫ということではないのですけれども、どうしても。

- (保護者) どちらでもいいということですか。
- (法 人) やはり本番に勝るものはないと思うのです。臨場感などは、出し物は同じ事をしますけれども、予行は予行です。お時間が許す限り、本番を見ていただきたいと思えますけれども。
- (保護者) でも、あまり最終予行をオープンにして、時間がいけるからと両方来られる方も、そうなればいるかなと思うのですけれども。
- (法 人) 当日、来ることができる条件があるのであれば、当日に来てください。
- (保護者) それは大前提ですよ。
- (法 人) 大前提です。
- (保護者) 私は、たいてい予行に行かせてもらうことが多かったのですが、けれども、毎年、だいたい4、5人、保護者は、私以外に誰かいるかいないかくらいなのですけれども、それで、「最終予行で少し来ているから頑張ろうね。」というのと、最終予行もいっぱいいる、本番の日もいっぱいいるだと、4、5歳なら、「見てくれるなら頑張ろうか」だと思えるのですけれども、2、3歳になると混乱もとまどいもあると思うし、それだけ予行で人が多いと、どこで一番の気合を入れるのかということが、あやふやになるような気もするのですけれども。
- (法 人) 2、3歳というのは、出す姿が、いつもいっぱい、いっぱいだと思うのです。4、5歳だと、多少、「今日も頑張るぞ」とか、おじいちゃん、おばあちゃんが来ているから、また違う顔で頑張るぞという意識も出てくると思うので、そんなに、むちゃくちゃはっぱをかける訳ではなく、やはり子どもたちの持っている力を無理はさせないように担任が声をかけたり、もちろん私も声をかけていきたいと思えますが、それほど負担をかけるようなもっていき方はしないので、見ていただければいいかと思えます。
- (市) 恐らく、法人さんが考えておられるのは、もちろん、運動会を2回するというのではなくて、本番はきちっとやらしていただく、ただ、今、おっしゃっていただいたように近隣の小学校で重なっているところがあって、どうしてもこの本番には来られないとか、抜けないといけなくて、全部見られないという方について、こちらもそうなのですけれども、そういう配慮が欠けていたところがあったので、今年については、予行をオープンにするという形で、自由に見ていただくという形なので、本番に来ることができる方は、もちろん本番に勝るものはないとおっしゃったのは、

予行は、あくまで予行ですので、予行をやってみて、やはり本番は変えたほうが良いなということがあれば、最終でも変えることはあると思うのです。ただ、全然見ることができないという方に配慮をさせていただいて、予行を見ていただくということですよ。

(法 人) はい。

(市) ですから、そういう形でご理解いただけたらと思うのですけれども。

(保護者) 凄く個人的に、凄く自己中かと思うのですけれども、最終週の予行で、私は、個人的な意見としてはビデオを撮って、自分の子どもの演技が全部撮れたので、本番の日は小学校優先にして、子どもをお休みさせたいと思ってしまう。

そうすると、予行でやっていたペアとかがある、でも、本番は休ませようかと少し、今、悩んでいるところなのです。

(保護者) 私も今、それを聞いて思ったのですけれども、去年、小学校1年生で今年2年生になるのですけれども、ほぼ小学校1年生は午前中に種目が終わるので、全く見ることができていないので、今年、保育園の予行をきちんとしてくださるのなら、そっちを見に行き、今年、全員で小学校に行こうかと私も思って、抜けさせたいと思ってしまったのですけれども。

これは、本当に保護者の勝手な意見ですけれども、それは可能ですか。本当に一部保護者の勝手な考えなのですけれども。

(市) 色々な事情があつて当日、お休みされる方はおられると思うのです。子どもさんの体調が悪くなったり、親御さんのご都合であるとかで。

(保護者) 体調面とかはあるとは思っているのですけれども、改めてそんなふうと言われてしまうと、そう考えてしまう。

(市) それは、こちらとしては、「いいですよ」とは言えないと思うのです。もちろん本番ありきのことで、配慮してということだったので。

(法 人) そうですね。こちらとしては、土曜日は、お子さまだけは参加でお願いしますということで。

(保護者) 土曜日に親が全然来なくて、親子参加というものが去年もあつて、親子で出てくるときに親が全然いなくなったりした場合は、先生がそれだけの人数をフォローで入るということですか。

(法 人) それは、もしそうなれば、しっかり把握させていただいて、親

子でないとできないゲームではなくて、また違う形のゲームを考
えていくことになるかと思います。

(保護者) 凄く寂しい運動会の本番にならないかという不安があるのです
けれども。

(保護者) 遠い地域なのです、行き来できにくい地域なのです。むしろ玉
島であれば、すぐに行ったり来たりできるではないですか、では
なくて、玉櫛だったり、葦原だったり、凄く遠い中津だったりと
か、本当に行き来しにくいところなので、迎えに行って、小学校
に戻ってということが、凄くしんどいと思うのです。

(市) 今、予行を本番並みにというところから、かなり混乱が生じて
いると思います。

ただ、本番を目指して取り組む、最終形に近いところを、本来
でしたら園の中でするものですがけれども、本番に來れない保護者
の方に配慮して、本番に來れない方を対象にしてやらせていただ
きたいというところが、第1前提です。

その後の、今、ご意見をいただいた、重なっている部分で、ご
家庭の事情で、やむなしに参加できないことについては、それを
絶対ダメという立場にもないですし、そこはご家庭でご判断いた
だく。ただ、園としては、最終形は全員参加の基に一定の形を作
り上げていく、子どもたちが共同しながら、連携しながら、「こん
なことができるようになったよ」という発表の場でもありますの
で、そこに欠けるということは、できる限りやめていただきたい
ということは本音なので、具体的で、ぶっちゃけた話になってし
まうと、非常に混乱してしまうので、そこは各家庭でご判断いた
だきたいということ、それから、初めからご家庭の行事等があっ
てお休みされるということは、事前にご連絡をいただいたほうが
体制はとれると思うので、その点のご配慮をお願いしたいと思
います。

それでは、かなり時間も過ぎてきたのですけれども、そのほかに
何かございませんでしょうか。

(保護者) すみません。入園式の日、入園式が終わって、0歳のクラス
で、クラス懇談をしてもらったということがあったのですけれど
も、例年だと、クラス懇談をした後に子どもたちの離乳食や、ミ
ルクのお試しではないですが、「離乳食の初期はこんなものが出ま
す。」、月齢を聞いて、「これくらい大ききさでいいですか。」とい
うのを先生と話をしたり、ミルクでも、飲ませ方を保護者と先生

とが話して、次のいざ預かるというときの参考ではないけれども、繋げていくということをしていると思うのですけれども、今年それがなくて、まして、初めて保育園に変わりましたということもあって、入園式も結構長くて、クラス懇談も結構長くて、もうお腹ぺこぺこで、0歳はみんな小さいし、お腹ぺこぺこのまま、「じゃあ、さようなら」と言われたのですけれども、現状を引き継ぐという点では、そこも入ると思うのですけれども、何故、今年はなかったのですか。

(法 人) 確かに離乳食の試食をしていますということは伺っておりましたが、うちの体制では無理かなということで、今回は見合わせさせていただいて、早い時期に入り込みをして、離乳食や家庭での様子や、園での様子をお伝えできたらと考えておりました。

給食室の体制などで、この日に離乳食を提供するという事は、難しいと判断させていただきました。

(保護者) 何故、難しいのですか。

(法 人) 初めてで、調理室も色々な人が寄り集まっていて、平日の保育もありましたので、給食を作ることで、離乳食を前期、後期と色々作るのは、今の対応はできかねるということを現場から申し出がありましたので、きちっとした物が提供できず、中途半端なことになっては、かえっていけないかということで。

(保護者) ちょっと納得ができないのですけれども。

(保護者) それは、前もって分かっていたよね。

(法 人) そうですね。

(保護者) そういうところなのですよ。保護者とすれば、そういうところなのですよ。

(保護者) その日に毎年出ているということは、先生も知っておられると思うし、分かっていることだから、それに向けての体制は作べきだと思うのです。

今の体制でできません、ごめんなさいではなくて、それも含めて入園の日だと思うのです。

早めに入り込みをすとか言う前に、入り込みの前にもう食べているし、飲んでるし、実際、うちの子は、家ではもっと飲むのに、これだけしか飲みませんとって毎日帰ってきているのです。では、どうして飲んでるのか、どうして飲ませてもらっているのかとってしまうし、分かっているのだから、なぜ体制がとれないのか。

体制とれませんでした、ごめんなさい、間に合いませんでしたでは、納得にはならないですよ。

かなりの時間、我慢させたのですよ。今、2か月、3か月とかで3、4時間くらいの間隔で飲むでしょ、それを、いつもより早く起きたりしているし、あの日5、6時間空いて、家に帰って凄く泣いて飲ませたのですよ。

(保護者) ないならないで、伝えておいてもらったら。

(保護者) 途中で授乳させてくださいとも言えるし、あれがあるから、少し我慢させようと思うから、一番小さい人たちに、その我慢は凄くキツイと思うのです。うちだけではなくて、食べる人たちにも。

(市) 今、正にずっと言われていることで、体制をとってダメでしたという説明があるのと、今、問われて回答として「とれませんでした」ということが、その辺が事前に保護者の方にご理解いただけていない、こちらもご説明できていないということが課題として上がってきているのかと思います。

先ほどの件も含めてですけれども、これが積み重なっていくと、本当に信頼関係の構築に大きな影響を及ぼすことになりますので、まだスタートしたばかりですので、これから積み上げていく基盤になりますので、この辺りは私どもも含めて、事前にご説明をさせていただいて、その都度、こういう結果でこうなるということをお示しさせてもらって、工事であったり、行事であったりに臨んでいきたいと思っておりますので、説明が、離乳食の件についてもできていなかったということは、申し訳ないと思っています。

今後については、今回、たくさんのご意見をいただいておりますので、それを踏まえて、事前に体制や行事のやり方等も含めて、ご説明をさせていただきたいと思っておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

(保護者) もう1ついいですか。進級式の日、りすで子どもを預けているのですけれども、朝、連れて行ったら、多分、毎年先生が預かってくれて、先生が進級式に子どもを連れてきてくれていたと思うのですけれども、いったら「預かれませんか」と言われて、親が子どもを抱いたまま、進級式に出たのです。

進級式の後に保護者総会もあったのですよね。うちは、そのまま保育をお願いしていたのですけれども、抱いている子どもを、りすの部屋に連れて行ったらいいのかという説明がないまま、そのまま来てしまって、総会にも全部入ってしまって、あれは、

どうして、預かっていただけなかったのですか、朝、一緒に進級式に参加するという体制でなかったのは、どうしてですか。

なぜ、私たちが抱いて、進級式に出ないといけなかったのですか。

(法 人) りすは、持ち上がりの方と、進級の方があったと思います。
持ち上がりの方は、預かっていたと思うのですけれども、「預かれませんか」と

(保護者) はい。今年は、連れて行ってくださいと言われました。

(保護者) 途中で預かってもらえましたが。

(保護者) 保護者会の前に、さすがに抱いて前に並ぶ訳にはいかないと
思って、預けたのですけれども、それも結構無理やり。

(法 人) 隣でも環境が変わるということで、泣いてどうしてもこちらが
お預かりすることが無理なくらい、かわいそうなくらい泣いて、
ということだったら、「今日はこんな状態だから、お願いします。」
ということは、あったかと思うのですけれども。

(保護者) 「今日は預かれませんか。」と言われて、「進級式終わったら連れて
きてください。」という説明もなく、一人のお母さんに、預か
ってもらえたと言われて、「じゃあ私も預かってもらおう。」と言っ
て、総会の前に預けたくらいで、最初から否定されたのですけれ
ども。

(保護者) 先生たちは、ここに並んで、余裕があった訳ではないですか。
なぜ見てもらえなかったのだろうと、ずっと結局、じっとできな
いから、先生たちの話も聞けないまま、進級式も終わって、なぜ
だろう、毎年預かってもらっているのに。

(保護者) 毎年、継続の方は預かってもらっていますよね、吉岡先生。

(保護者) 園長先生は、「預かっているはずですよ。」と先ほどおっしゃった
ということは、周りの先生は全く誰も知らなかったということだ
すか。

(保護者) 勝手に担任の先生が、「自分たちで見てください。」と言ったと
いうことですよね。

自分たちの連携をしっかりとってもらいたい、お互い理解ができ
ていなかったということですね。

(市) 今、民営化が始まって、認識のずれで、保護者の方が戸惑われ
る変化があることに加えて、先ほどのように変えていく部分もあ
るので、保護者の方にとっては、大きい変化になってきている、
その変化を最小限に止めましょうということで、スタートしてい

るので。

(保護者) すみません。K先生いらっしゃいますよね、K先生は、去年もりすだったのに、なぜそこは把握できていなかったのだろう。

去年と同じ先生がいるのに、今年だけこうなったのですか。

やはり、ちゃんと連携ができていなかったと。

(市) そうですね。先生はおられるとはいえ、組織として「こういう体制で動きなさい。」という指示があつて動きますので、去年と少し違うと思いつつ対応してしまつたところがあるのかも知れません。そこは、本人に聞いた訳ではないので分かりませんが、つきつめていけば、やはり職員間の連携が、しっかりできていない部分があつたかと。

(保護者) それ以外でも気になる部分があつたのです。この先生たち、ちゃんと連携できていないなということが、ちらほら見受けられるので、さっきもおっしゃられていたのですけれども、そこをもう少ししっかりして欲しい。

(市) ほかに、連携の部分でとまどつたことがあつたというご意見が色々あるようでしたら、また、担当にご連絡をいただいて、報告していただければと思います。

三者協議会も1時間半ということで長くなってきましたので。

(保護者) 先生たちは、悪いと思つているのですか。

(法人) はい。連携がとれていないということは、結構、報告は受けてたりしているのですけれども、それが全てかどうかということで、私自身も、先ほども申しましたように、先生たちもかなり緊張の高まりが出てきているので、しっかり話し合いの機会を持たないといけないと今、本当に感じているところです。

(保護者) そうやって、「思います。」ということはありませんけれども、謝ることはないですよ。謝れないのですか。

何か市は、「すみません」とか「申し訳なく思つています。」と言いますけれども、先生たちは、「すみません」の一言もない、「こうしようと思つます、ご理解お願いします。」それだけで、子どもたちには、「ごめんなさいを言いなさい」とか言うのに、大人が謝れないのは、どうかなと凄く、ずっと気になつていて。

(法人) 申し訳ありません。謝れないことはないのですし、ご指摘いただいているところは、素直に認めて、本当にこれから直していかなないといけないところだし、ご迷惑をかけた点、不愉快な思いをさせたことに対しては、本当に謝りたいと思つています。

申し訳ございませんでした。本当に気をつけていきたいと思えますとしか答えられないのですけれども、本当に不愉快な思いをさせたことに対して、謝りたいと思います。

(市) そのほかに、いかがでしょうか。

(保護者) すみません。0歳の担任の先生が4人いらっしゃるのですけれども、1人、朝9時には絶対いない先生が、いますよね。

勤務やシフトの中身までいいのですけれども、毎日いないのですか。

(法 人) 今、考えているところです。揃うように、体制を変えていきたいと考えています。

(保護者) 朝、一番からいてくれるように、その先生も担当に入りますよね。

(法 人) はい。

(保護者) 今、引き継ぎの先生が5人おられると思うのですけれども、それぞれ入り込まれていると思うのです。

これだけ連携がとれていない状況で、法人の保育士さんが分からないことがあると思うのですけれども、引き継ぎの先生に、尋ねたり、教えてもらっていないのですか、きちんと。

(法 人) 教えていただいています。私たちが見せていただいたのは、本当に各クラスできあがった1月、2月、3月でしたので、この歳児は、4月からはどのような手順を踏みながらああいうやり方になったのかという、本当に最初の混乱期を私たちが、ほかの園では経験しているとはいうものの、ここでのやり方は経験していないので、しっかり指導を受けています。

(保護者) それならば、進級式の件は、引き継ぎの5人の先生は、知っていらっしゃるはずだから、りすさんは、預けられたのではないかな。

(市) 例年どおりのことは、全部、言わせてもらっていました。

先ほどの0歳の離乳食の件も、「明日から、いつもだったら離乳食が始まっていますよ。」ということも、言わせていただくのは、言わせていただいています。

ただ、先ほどからずっと課長もおっしゃっていますように、職員の連携のところ、給食室が結局、間に合わなかったのかと、今、私も実際に話を聞いていて、本当に0歳の離乳食の提供は、必要だと思うし、保護者にまず安心していただけるのと、保護者と子どもさんと、職員が顔を合わせられる唯一の最初の日にちな

ので、私たちは大事にしてきていることも、一応お伝えは、させていたでいていました。

(保護者) クラス懇談があるので、そのときに、各クラスの先生方と保護者の関係というものを全部、ちゃんと言って欲しいです、こういうことがないように。お願いします。

(保護者) 初日に保護者同士の自己紹介がなかったのです。内容はもういいのですけれども、0歳とか1歳で、自己紹介がなくて、今、2週間経ちましたと言うけれども、毎朝会うお母さんがいるのですけれども、「だあれ」となるのです。

抱えている子どもが小さいので、一緒のクラスだろうなと思うのですけれども、未だに誰かも分からないし、入園式の日クラスの懇談で、日中は、どうして過ごしますよ、これから担当制になるのか、みんなでみんなを見る保育をしていくのか、日中は外に出るのか、という話も何もなく、今でもノートで、「外に出ました。」と書いてくれているから、外に出たのだなと思いますけれども、どういう生活を送っているのか、何も分からない。

最初に外に出ましたという日は、まだ帽子も持って来てとも言われていなかったもので、帽子もなしで外に出ている、外に行ってもらうのは、全然構わないのですけれども、行くつもりなら、スタートの時点から、「帽子の準備をお願いします。」と言ってくれていたなら、こちら準備しておくし、いつもなら、小さい子でも必ず帽子を被って外に行くとは思うのですけれども、それもなしに行っている、行くのは構わない、前もっての色々な説明、今日の話、全般にそうだと思うのですけれども、前もっての話が何もこちらには来ていない、お母さん同士も分からないままスタートしているというのは、クラス懇談で自己紹介は、結構当たり前かと思うのですけれども、先生たちもてんぱっていると言ったらおかしいかも知れないですけれども、バタバタしているのは分かるけれども、それは必要だと思うのです。

0歳は、「はじめまして」のお母さんばかりなので、少し色々なことが抜け過ぎかなと思っています。

(保護者) 若い先生なので、「クラス懇談では、こういうところを聞いてあげてください、こういう段取りをして進めていってください。」ということを上から教えてあげるというのは、もうお任せですか。

(法人) 「こうしなさい。」ということはありませんでしたけれども。

(保護者) 必要な項目はありますよね。日中の。

(法 人) そういうことは、しています。全部、副園長が回って確認しているのですけれども。

(保護者) ちょっと大事なところが抜け過ぎかなと感じています。

(保護者) 前から引き継ぎを受けているところが成されていないことが、今聞いていたらあると思うのですけれども、それはなぜですか。

(法 人) 現場と調整しながらということが、第1にありました。

中途半端なことをするのであれば、というところで、最終的に離乳食の試食がなかったというのは、私が判断しています。現場も、今までやっていたということは引き継いでいますし、私も引き継いでいましたので、どうかなという話は聞いたのですけれども、今は初めてみんなが来て、使い方にも慣れている中で、離乳食を何種類も作るのは、とてもこの時間帯では無理ですということで、それをすると、余計に色々なことができなくなってしまうという現場の意見が。

(保護者) 食べるまでは、食べるとなると人数分いると思うのですけれども、初期、中期、後期は、これくらいの物が出ます、ミルクはこんなものを使っていますというのを見せるだけでも、違うと思うのです。「今日は食べられないのですけれども」と言って。

それに、食べないのであれば、もっと時間を短くして欲しかったのです。ここでも長かったし、部屋に入っても長かったし、だからといって、部屋で説明がスムーズに進むわけでもない、色々なことがノロノロしているということがある中で、時間ばかりが凄くかかったというのが入園式の日の感想だったので、食べられない、飲めないなら、もっと短くするか、せめて見せて欲しかったと思います。

(市) 引き継ぎを事前にさせていただいて、この場面ではこうですということで、お伝えさせていただいて、保育士さんも十分認識して、実際その現場に出て行って、ただ、実際、相手には動く子どもたちがいて、保護者の方も来られて、てんばっているということも、よく分かります。

そのてんばっているところに、引継保育士がいますので、そのときに何らかのアドバイスをしていると思うのです、しているのだけれども、てんばっている部分に入りきれていない部分が、実際には対応できていないですから、今までと大きく変わる、その辺のところ大きな課題として、ご意見としていただいたのかなと思っておりますので、ご指摘いただいている、変更の前には必ず

ご説明させていただくという点と、それから、今までやっていたことで、できていないことがやはり出てきているので、その辺での声かけの仕方であったり、動き方、どうしていけば、それは、法人さんの保育士さんだけではなく、引継保育士もいますので、サポートに回りながら、どういう体制がとれるかというのは、今一度考えてみたいと思いますので、今後は、できる限り混乱を招かないようにさせていただきたいと思いますので。

(保護者) 主は法人さんになっているのですけれども、私たちとしては、知っておられるのが引き継ぎの先生なので、もっと言って欲しいということはあるのです、正直、でも言えない立場になりつつあるから、そこも分かるのですけれども、やはり見ていて、全然引き継いでいないと思うところは、はっきり言ってほしいというのが、正直なところ。「ここはして欲しい」というところは。

(市) 1歳、2歳、3歳については、最初は保育士さんが皆さん若いので、給食のとり方も一斉にされていたりという部分があったから、そこは私たちが入って行って、きっちり時差をつけるようにアドバイスしていています。

現場の保育士さんたちも、「そうですね。こうしていたらトイレも混み合わないし、ご飯のところも混雑しないし。」ということを実体験で学んでいってもらっているのも、全く言っていないということはないのです。でも、やはり私たちも、法人さんの保育士さんとの関係性であったり、一番見ているのは子どもたちだから、その前で、「ここ違う、あそこ違う。」とか、全然違うことばかりではないので、その辺は、やはりうまくやっていきたいという思いもありながら、少し気になるところは、園長先生の耳に入れて、全体で話し合っただけで欲しいとか、そういうところは、少しずつ、やはり皆さんが、いっぱいいっぱいになっているときに言っても入らないと思うし、タイミングを見ながらではありますけれども、言わせていただいているし、直接、その場で、「先生、今はまだ、ちょっとお外から入るのは早いよ。前半の子が食べて、途中までお外で遊んでおこう。」とかというアドバイスもして行って、1歳、2歳、3歳については、給食のとり方は、本当に以前と変わらないようには、2週間ですけれども、完全に引き継いでいるかと思っています。

こういったことを、もっと、もっといっぱい、早く安心材料として、お話できたらいいなと思うのですが、今、実際にやってい

っている途中なので、保育士さんたちも本当に頑張っておられます。

法人の先生たちも、分からないところは、引き継ぎの先生たちに聞きたいですという声も、少しずつ聞けるようになってきたので、本当にこの2週間で、あまりにも保護者の方には不安を抱かせたかと思うのですけれども、これから夏にかけて、話すうちに、もう少し関係が深まっていくと思うし、まだまだ行事に関しては、これからが本番なので、そこのところでは、しっかりとと言える関係、聞ける関係を私たちも含めて言っていきたいと思うし、平出先生も含めて、ことば足らずのところはあったのかも知れませんが、私も含めて、お母さんたちと、もっとお話がしっかりと、以前のように朝から晩までいて、話すことができていると、もう少し解消できたのかと思う部分もあるので、本当にこの2週間で、色々お怒りになったことはあったみたいで、そこは本当に申し訳なく思っているし、でも、今のところ本当に子どもたちは、新しい先生たちの名前をよく覚えているし、一緒に遊ぶことを喜んでいるので、子どもたちも、これからもっともっと、先生たちのことを好きになっていって、保育園に慣れていくかと思っています。

(市) すみません、長くなって申し訳ないのですが、今日の全般的にいただいたご意見を聞いていると、私どももそうですし、引継保育士と、法人さんもそうですし、法人さんと保護者さんもそうですし、全般的にコミュニケーションを保護者さんも求めておられると思うのです。

それがないから、こういうかけ違いになったり、思い違いになったりということがあるので、ただ、言い訳ではないのですが、始まって2週間で確かに法人さんもてんばっておられる、その中で引継保育士もできるアドバイスはしている中で、どれだけ浸透するかが分からない部分がある、保護者の皆さんがお気づきになった部分は、かなりこの2週間であったと思います、それでご不安になった部分はあったと思うのですけれども、そういうことは、コミュニケーションをしやすい環境を僕らで作っていくということが、1つの方法かな、作っていかないといけないということを今、実感しておりますので、お気づきになったことを溜めて、溜めて次の三者協議会で一気に投げてしまうと、そこまで解決できることも、話が長引いてしまうところがあるので、多分、園長先生も、今、いっぱいいっぱいになっておられると思うのですけ

れども、事務室等でみかけられたら、担任の先生なり、園長先生なりに、そういったことをぶつけてもらえれば、その場でお答えできることもあるでしょうし、その場で解決できることも出てくるかと思しますので、その辺りは、私にでも結構です、「こんな話があったのだけれども、園に聞いてみてもいいだろうか、法人さんに聞いてみてもいいだろうか、引き継ぎの先生に言ってもらえないだろうか。」というようなメールを送っていただけたら、私が必ず個々のところに発信しますし、もちろん課長とも情報を共有して、どうしても法人さんに言わなければいけないということであれば、こちらに出向かせていただいて、もちろん工事の件に関しても、見に来させてもらいましたし、「どういった事情ですか。」ということは、即電話でも問合せさせていただきましたので、私をツールとして活用していただいて構いませんので、直接言いにくいことであつたりとか、ちょっと聞きたいということがあつたら、どんどんメールをいただいて結構ですし、もう少し距離を近づけないと、距離を測りかねている部分が、保護者さんにもあるし、こちらにも、法人さんにもあるかと思しますので、私が潤滑油ではないですけども、うまく回せるかどうかは別にして、しっかりとやっていきたいと思っておりますので、もっと活用いただけたらと思ひますし、もっと気軽に話していただければ、そこまで解決できることであつたり、少なくとも誤解は生じなかつたり、思い違いは、少しずつ解消していくかと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(市) そのほかに、いかかでしょうか。

(法 人) 一言、お詫びをしたいと思ひます。

色々皆さんのお話を聞かせてもらひまして、不備がたくさんあつたのだなど、松ヶ本の民営化のときにはどうだったかと、色々思い出しながら反省してひます。

今回のお話については、本当に何とも言いようがない、お詫びをするより仕方がない、何も弁解の余地はないと自分自身で、そう思ひてひます。

次回の三者協議会ときには、少しは改善できているというようなお褒めのことばをいただけるようにしたい、それだけです。

また、そのためにも色々のご支援とご協力もお願ひしたいと思ひます。

この場を借りてよろしくお願ひいたしまひて、お詫びとさせて

いただきます。どうも失礼しました。

(市) よろしいでしょうか。ありがとうございます。

以上で本日の案件は全て終了いたしました、本日の三者協議会を閉会とさせていただきますと思います。

なお、次回の三者協議会につきましては、5月21日、午前9時からを予定しておりますので、皆さま方のご出席をお願いしたいと思います。

本日は、長時間にわたりまして、ご審議いただきまして、本当にありがとうございました。

－ 了 －